

離床センサー

vol.82 2016.3



現場レポート!

離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します!



兵庫県・T病院 様

● 製品：徘徊ナビ・ハイパー

兵庫県・T病院様の現場をレポート
離院問題ゼロを掲げて「徘徊ナビ・ハイパー」を使用。その効果をご紹介します。

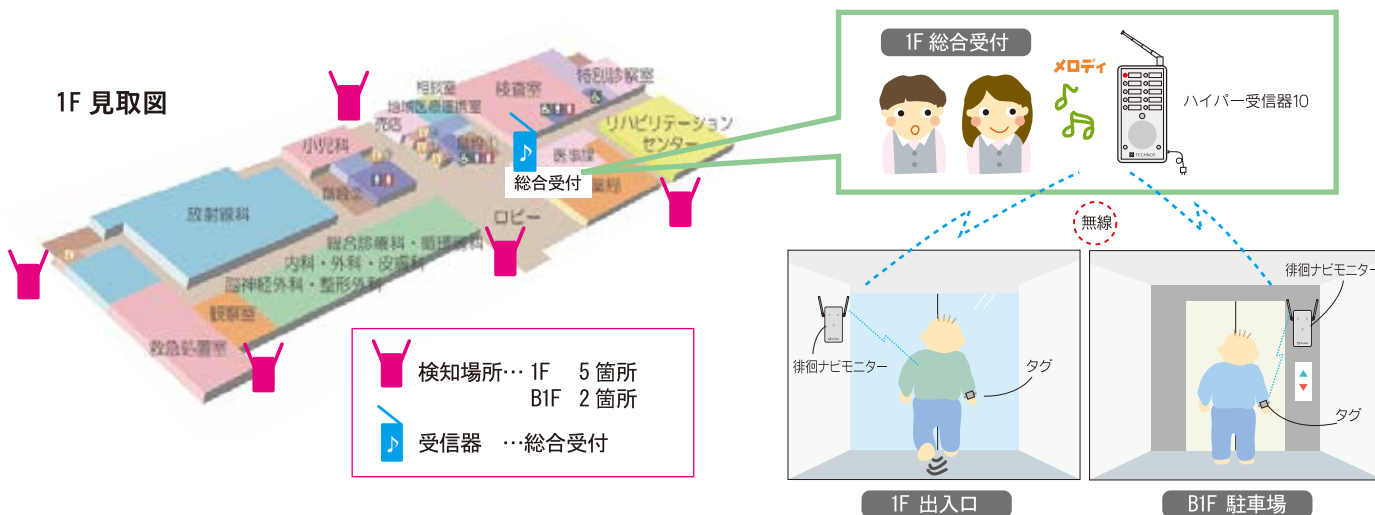
課題

認知症患者は徘徊によって病院内から外へ出てしまう事があり、
看護師のみの注意では防ぎきれず困っていました。

対策

「徘徊ナビ・ハイパー」を導入しました。
B1Fと1Fの全ての出入口（7箇所）で徘徊の恐れのある方を検知します。
受信器は総合受付に設置し報知すると職員がすぐに現場へ駆けつけます。

徘徊の恐れがある方にタグを付け、1FとB1の全ての出入口（7箇所）に徘徊ナビモニターを設置。
タグが近づくと検知しハイパー受信器10でお知らせします。



効果

導入後、タグを取り付けた認知症患者の離院が「0」ゼロになりました！
受付スタッフにも協力いただき看護師と連携して、患者を拘束することなく
離院を防ぐことができます。

徘徊ナビ ひとくちメモ

「徘徊ナビ」の導入により、スタッフの精神的負担が緩和されているようです！